

きと質し、民活を活用した整備計画を29年度中に示すと答弁がありました。

☆介護ロボット等導入募集にあたり、もっと事業者に広く募集をすべきではないかと質し、次の募集時には、全事業者に周知するように努めますと答弁がありました。

### 宇多春美議員

☆特別支援学校について



錦岡小・明徳小の統合後の明徳小跡地に特別支援学校を設置する

考えに対して、平取養護学校の住み分けなどの道教委や道庁の対応など情報を収集し、市の最重要事項、さらに経済界にも協力を頂き、まちぐるみで取り組むことを質しました。

☆ひとり親家庭の支援について

経済面に課題を抱えている家庭への支援は、資格取得支援・住居確保支援・教育に関する支援などを続けること、また適切な養育環境を提供するために、こども支援課及び複数機関で情報を共有し、

支援を必要とする家庭に直接訪問し、家事・育児についてきめ細かな援助と指導をすることを質しました。

### 板谷良久議員



☆3年間の総事業費約9000万円のとまチョップポイント事業

「業」に関連した補正予算である、地元商店活性化事業(事業予算800万円)について質問しました。この事業は12月15日〜翌1月31日の間に、とまチョップポイント事業加盟店(以下加盟店)で買い物をする500円につき1スタンプ、計4スタンプたまると2月に行われる抽選会に参加することができます、1等3万ポイントから、総額500万ポイントを市民に還元するということです。

現在の加盟店数が148店舗であることから、とまチョップポイント事業の目標加盟店数350店舗の早期達成を目標に、市として積極的に取り組むよう強く要望しました。

## 市民派会

谷川 芳一・桜井 忠

### 一般質問



谷川 芳一 議員



桜井 忠 議員

1. 泊原子力発電所の運転について
2. IR誘致について
3. 商業施設 egaio について
4. 法人市民税超過課税について
5. JR北海道の路線見直しについて
6. 住宅行政
  - (1) 市営住宅の用途廃止と住みかえについて
7. 教育行政
  - (1) 学校体育館の照明について

### 委員会質疑

建設委員会 陳情審査

1. ウトナイ地区新設中学校を初めとする今後新築・改築する公共施設の一般用途熱源としてのLPガス採用に関する陳情【趣旨採択】
2. IR(カジノを含む統合型リゾート)誘致

### 補欠選挙と議員定数

現在定数に対して2名欠員なので、平成30年の市長選挙の時に補欠選挙となります。10ヶ月後にまた選挙をしなければならぬのに立候補する人がいるのだろうか。いっそ定数を2減してしまえば良いという声がありますが、今決まったとしても平成31年施行となり補欠選挙には間に合いません。

そもそも定数の問題は削減の議論をする前に前回減らしたことの検証を行うことになっていますが着手されていません。委員会が現行の4でいいのか、人口減の町のように3でいいのか。地方自治法の改正で議員が委員会に複数所属できるようにしたが、苦小牧ではどうなのか。一つの委員会では何人の委員が適当なのか。そういう検証が必要だと思います。

議会は2減でも同じだから定数を削減すべきという声がありますが、そうではありません。議員が少なければそれだけ市役所をチェックする目が少なくなります。そうなれば市役所のやりたいがまま。やはり議員がチェックする必要があります。同じに見えても質や量が全く違います。